

「解剖学カラーアトラス」第3版

Erlangen-Nürnberg 大学名誉教授 J.W. Rohen 共著
 神奈川歯科大学名誉教授 横地 千仞

北里大学教授・解剖学

亀 田 芙 子

従来出版されている解剖学図譜は描画により半模型的に表現されたものが大部分であるが、Erlangen-Nürnberg 大学名誉教授の J.W. Rohen 博士と神奈川歯科大学名誉教授の横地千仞博士の共著による本書は、実物の解剖標本を写真によって示した人体解剖学アトラスである。解剖学用語は日本語と英語で記載されている。初版は1985年に出版されているが、今回更に多数の標本写真と挿図が追加され早くも第3版が出版されたことは、本書が解剖学図譜として優れ、多数の医学部・歯学部学生に使用されていることを証立てるものであろう。

書評を依頼されたため本書を注意深く拝見し、また他の多くの解剖学図譜と内容を比較した結果、この本の素晴らしさに驚くと同時に、北里大学で学生が指定している図譜のほかにこの本を解剖実習室に持ち込み勉強する理由が理解できた。肉眼解剖学の教育に携わる者としてこのような貴重な解剖学図譜が出版されたことを大変ありがたく思う。序文の中に“標本は説明がなくてもそれ自体でわかるように努力した”と書かれ、著者の標本作製における自信のほどがうかがえるが、事実極めて解剖標本において目的事項が剖出され

ており、それが高品質のカラー写真で見事に呈示されている。解剖標本をこれだけ完璧にわかりやすく剖出しようとする大変な労力が必要である。また、現在の解剖学用語に挙げられているものはほとんど網羅され呈示されているため、この図譜を完成させるためにはおびただしい数の解剖体を必要としたと考えられる。長年にわたり肉眼解剖学に全力を尽くされた著者の姿勢が拝察される。

本書では最初に総論の事項が呈示されている。特に関節の種類に関して模型、解剖標本、晒した骨格標本と3つを対比してわかりやすく説明されている。次いで頭部、頸部、体幹、胸部内臓、腹部内臓、尿生殖器、上肢および下肢の順で体の各部が記載されている。いずれの部位においても最初に系統解剖的に、次いで局所解剖的に剖出されている。例えば上肢では、上肢の骨格、骨の連結、筋、血管、神経と示した後、上肢の各部位を局所的に解剖した写真が載せられている。

また、目的の事項を呈示するための最も良い剖出方法が選ばれ解剖されているため、一体の解剖体を全身限なく解剖する一般的な解剖方法では呈示できない標本が随所に加えら

れている。例えば三叉神経について言えば、脳と眼球が付いたままの状態を外側側面から解剖された標本が呈示されているため、三叉神経が橋を出て三叉神経節を形した後、眼神経、上顎神経および下顎神経に分かれ、各神経がそれぞれどのように分布するか一目で全体像を把握できる。

更に、一般には剖出が困難である内耳の蝸牛と半規管なども明確に剖出されている。呈示した標本写真を理解しやすくするための工夫が凝らされており、すべての項目において実物が写真で示されると同時に、それに対比して色分けされたわかりやすい模式図が挿入されている。また各部位の随所で断面写真が載せられ、それに対応するCT像またはMR像が加えられている。微細な動脈が分布する箇所では動脈造影の写真も載せられている。

本書は肉眼解剖学を学ぶ医学部・歯学部の学生は勿論のこと、臨床に進んだ医師にも解剖学的知識が必要となきに見ることをお薦めできる詳細な本格的図譜である。

● A4 頁514 図24 写真129
 原色図753 色図166 1994
 定価12,360(税込) 千600

医学書院 刊 (☎ 03-3817-5657)